

## 第43回日本学校農業クラブ中国ブロック連盟大会農業情報処理競技会

8月1日(火)、山口県立山口農業高等学校で第43回日本学校農業クラブ中国ブロック連盟大会農業情報処理競技会が開催されました。競技会には鳥取県予選を勝ち抜いた3名の生徒が出演し、本校からは食品システム科2年の田中宇宙くんが出演しました。今年は農業クラブ全国大会で、十数年ぶりに農業情報処理競技会が開催される予定です。そのため今回の中国ブロック連盟で2位以内に入賞すれば、全国大会進出の切符を手に入れることになります。本来ならば中国ブロック連盟大会に向けて、教員生徒がマンツーマンで指導と練習を行うものなのかもしれませんが、田中くんは問題と情報を渡すと、自分で学びわからないところは質問するスタイルでみるみる力をつけていきました。しかし、本番の問題は、事前に発表された練習問題と大幅に異なる問題だったので、「これは最後まで行き着かないだろうな・・・。」と各校の引率の先生方からため息が漏れていました。競技中は競技者と大会運営役員以外しか競技会場には入れないので、引率教員競技終了後までドキドキしながら、ただただ、待つことしかできませんでした。

競技が終了し、採点に移りました。採点基準がしっかり決められていて、誰が採点しても点数が変わらない箇所は引率教員以外の先生に採点を行ってもらい、採点が採点者の感覚に委ねられる箇所は各県の引率教員が慎重に採点を行っていきました。採点時には、競技者が誰かわからないようにして採点を行っていたので、閉会式まで誰がどの程度できたかわからない状態でした。そのため、教員も生徒もまたしてもドキドキしながら待ちました。

結果は、田中宇宙くんが優秀賞(2位)を獲得し、見事に農業クラブ全国大会への出場が決まりました。中国5県で鳥取県が最も遅い県大会で時間的に不利だったにもかかわらず、家にパソコンがない環境の中、本当によく頑張りました。提出するグラフと考察文が完成させることを忘れていて、なんと最後残りの5分で追い込みをかけたようです。全国大会では持っている物を全て出し切って欲しいと思います。もしかしたら、爪痕を残せるかもしれません・・・。

競技会前に練習をする田中くん



開会式の様子



表彰式の様子



全国大会への切符を手に入れました



